

inet

第43期
株 主 通 信
[2013年4月1日~2014年3月31日]

IR REPORT

株式会社 アイネット と株主様を結ぶコミュニケーション誌



[目 次]

ごあいさつ …	1
第43期のご報告 …	2
トップインタビュー …	3
皆様の暮らしを支えるアイネット …	7
第43期連結財務諸表の概要 …	9
トピックス …	11
社会貢献活動 …	13
会社の概況・株式の状況・IRカレンダー …	14
株主還元について …	15
株式メモ・ホームページのご案内 …	15

代表取締役会長
池田 典義

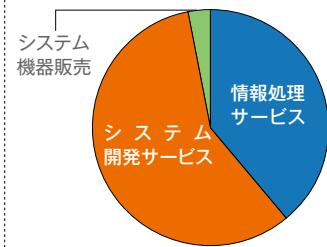
代表取締役社長
梶本 繁昌



平素は格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

ここに、第43期株主通信をお届けするにあたり
謹んでごあいさつ申し上げます。

サービス区別売上高



情報処理サービス

売上高 **8,783**百万円
売上構成比 **39.0%**
前期比 **3.5%増**

システム開発サービス

売上高 **13,063**百万円
売上構成比 **58.0%**
前期比 **6.3%増**

システム機器販売

売上高 **681**百万円
売上構成比 **3.0%**
前期比 **15.8%減**

第43期のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による積極的な財政や金融政策を背景に、円安の進行や株価の上昇がありました。その結果、企業収益や個人消費が改善し、緩やかな回復となりました。

当社グループが属する情報サービス業界では、顧客企業の収益改善に伴って、システム開発を中心に、IT投資回復の動きが見られました。併せて、企業の一層の経営効率化や事業拡大などを目的としたデータセンターやクラウドサービスの利用が拡大しております。

このような環境下、当社グループは既存顧客との継続的な関係強化や、新規顧客の開拓を図り、IT投資に対する需要を積極的に取り込みました。また、4棟目となるデータセンターを竣工するなど基盤整備を進め、さらにインフラを中心としたクラウドサービスに共通アプリケーションを加えた新クラウドサービス

「Dream Cloud®」を開発し、サービス領域を拡大して顧客ニーズに対応しました。

以上の結果、売上高は、情報処理サービス並びにシステム開発サービスの売上が増加したことにより22,528百万円(前年同期比4.4%増)となりました。利益面も、営業利益で1,664百万円(同8.2%増)、経常利益は1,561百万円(同5.0%増)、当期純利益は901百万円(同1.9%増)となりました。

第44期(2015年3月期)につきましては、顧客とのリレーション強化に伴う最適ソリューションの提供やデータセンターなどのインフラ整備、さらにはクラウドサービス「Dream Cloud®」のラインナップ強化を積極的に実施していくことで、持続的な成長を確かなものとしてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

22,528百万円 (前期比 4.4%増)



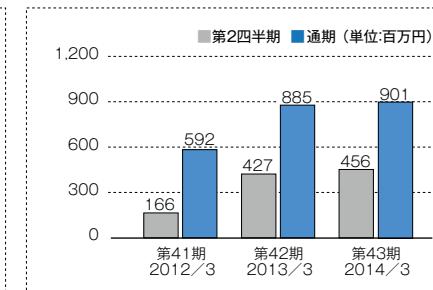
営業利益

1,664百万円 (前期比 8.2%増)



当期純利益

901百万円 (前期比 1.9%増)





代表取締役社長
梶本 繁昌

トップインタビュー

「One アイ ネット」でシナジーを發揮!

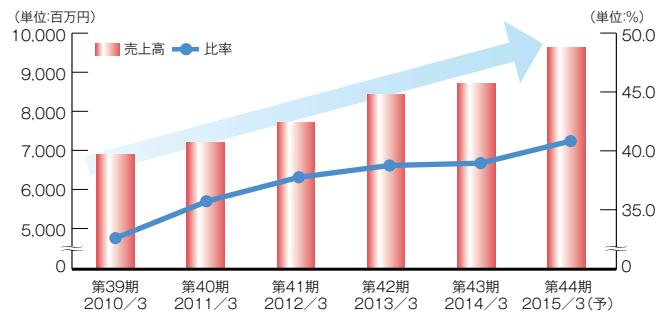
シナジーを高め、継続的な成長企業を目指します。

Q.1 前期(43期)の業績は
いかがでしたか。

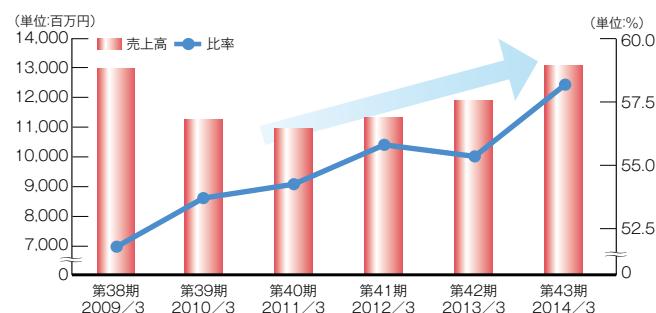
43期は、情報処理サービス並びにシステム開発サービスで売上を伸ばし、3期連続の増収増益(2期連続で最高益更新)を達成することができました。この結果は、事業方針を全社一丸で取り組んだこと。又、株主の皆様のご支援の賜物であると心から感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

業績好調の主因としましては、ここ数年注力しております、「データセンタービジネス」や「クラウドサービス」などのストックビジネスが順調に増加したこと、並びに活発化してきた企業のIT投資ニーズに応えた結果、直接契約による「システム開発サービス」の受注拡大が挙げられます。これらは、以前から継続して取り組んでおります事業方針の、「エンドユーザー志向」による直接契約推進と「ストックビジネス拡大」の成果が確実に表れてきたことによるものと考えております。(図1、図2参照)

【図1】当社ストックビジネス(情報処理サービス)の推移



【図2】当社エンドユーザー売上(全サービス)の推移



Q.2 増収増益を支えている、
ビジネスモデルについて教えてください。

当社グループのビジネスモデルは、データセンターとITMS(運用管理)を基盤として、その上で有機的に連携した様々な事業体のサービスをお客様に提供し続けていくことです。具体的なサービス内容としては、コロケーションサービス、クラウドサービス、SS決済事業、業務システム開発、組込みソフト開発、プリント、封入封緘、等々多岐にわたります。これらは、事業単体での営業推進のみならず、クロスセル(相互販売)を行っております。つまり、お客様1社に対し、様々な事業体の様々なサービス展開を図ることで、お客様との多面的且つ有機的なお取引をすることです。これがビジネスモデルであり、当社グループの強みです。

事業戦略は以下の通りです。

①「時流ビジネスと既存ビジネスのシナジー」で、
事業展開効率の向上

データセンターやクラウドサービスの様に企業の関心が高く注

目を浴びている「時流ビジネス」と、SS決済業務やシステム構築等々の「既存ビジネス」を、相互に連携しサービス提供していくことで、新規顧客の開拓が容易になるとともに、売上・事業規模拡大に繋がり、結果、お客様の囲い込み・差別化となります。

②「ITワンストップ・サービス」で、
お客様のビジネスをサポート

複雑で高度化したITを、低コスト、且つ、高セキュリティで、しかも、(図3)の様に、上流から下流まで、当社グループ内の事業体が、ワンストップで提供しております。これによりお客様は本業に専念していただけます。又、多面的、且つ、有機的に連携したサービスを提供することで、お客様の利便性が向上すると同時に他社の参入障壁になり、当社グループの優位性が益々高まります。

【図3】「ITワンストップ・サービス」





③「フロービジネスをストックビジネスに繋げる」で、
新たなサービスの創造

システム開発などの「フロービジネス」で顧客獲得すると同時に、そこで得た業務ノウハウをクラウドサービス（SaaS/ASP）として多くのお客様に提供し、「ストックビジネス」に繋げることで、更に収益も上がります。

④「個人情報をキーワードとしたサービス」で、
他社との差別化

電子化が進んだ現代社会でも官公庁・自治体をはじめ、金融機関などの一般企業においても、請求書や督促状という紙媒体は依然として必要です。しかしデータセンター事業者や印刷事業者など複数の事業者に跨ることで情報漏洩の危険性が高まります。当社グループの様にデータセンター内でコンピューターを預かり、システムを運用管理して印刷や発送まで自社で対応している会社は多くありません。煩雑で細密な作業を、セキュリティを確保したデータセンター内でサービス提供できるのは、大きな付加価値であり、他社との大きな差別化です。本キーワードでの受注となる事例も近年増えております。

Q.3 最後に、今期の取り組み方針と
数値目標を教えてください。

引き続き、以下の事業方針を強力に推進してまいります。

- 事業方針
- ① エンドユーザー志向
- ② スtockビジネスの拡大
- ③ 変化と進化（コラボレーション）

Q1で、事業方針の成果が確実に表れてきたことを述べましたが、さらにこれらを推進し、継続的な安定成長を実現していきたいと考えております。そして、組織やグループ、社内外を問わず、コラボレーションすることで、新たなサービスを創出し、お客様に多面的なサービスを提供してまいります。

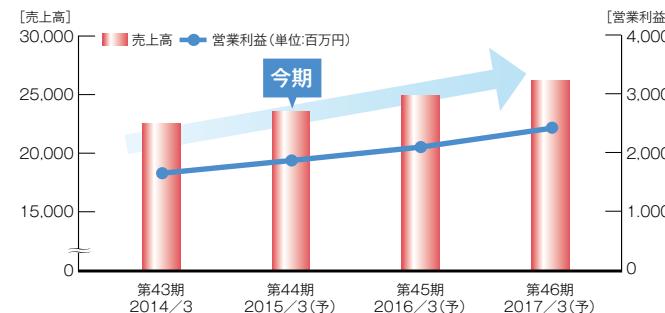
有機的に連携したアイネット、即ち「Oneアイネット」を推進することが、更なる変化と進化に結びつき、ひいてはエクセレント・カンパニーへと成長していくこととなります。

又、「Oneアイネット」を継続的に実現していくためには、すべての社員が活躍することが不可欠です。年齢や性別を問わず、仕事と生活の調和をとりながら、社員一人ひとりが、やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たしていく。出産時期、子育て期、中高年期といった人生の節目にも各段階に応じた役割や業務を創出していくことで、グループ全体のパフォーマンスを向上させてまいります。特に今期を女性活躍元年と位置づけ、制度の充実などを進めていきたいと考えております。

この44期は、昨年度に竣工した4棟目となるデータセンターも本格的に稼働を開始します。データセンタービジネスとクラウドサービスを更に向上させるとともに、システム開発サービスや、SS決済事業など既存のビジネスも伸ばしていき、4期連続増収増益を計画しております。

● 44期の計画	
売上高	236 億円
営業利益	18.8 億円
営業利益率	7.9%
経常利益	17.6 億円
当期純利益	10.5 億円

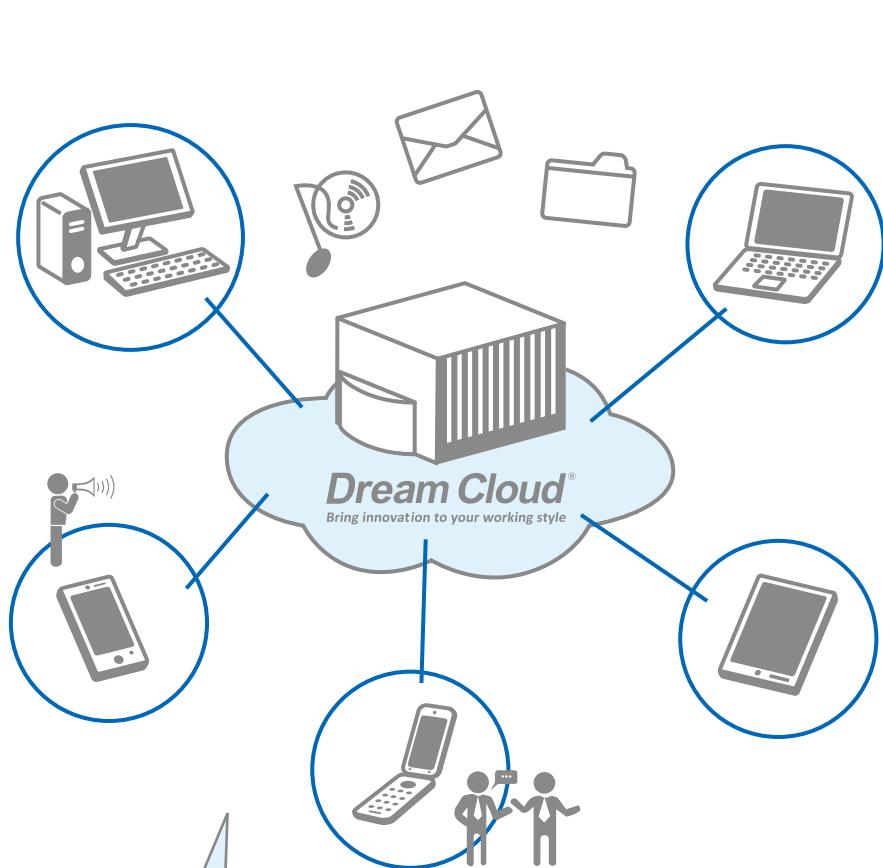
【図4】中期収益イメージ(連結)



最後になりましたが、引き続き、安定した高収益企業を目指し、グループ一丸となって邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願いいたします。

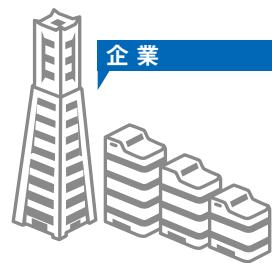
[皆様の暮らしを支えるアイネット]

アイネットは、ITサービスで、皆様の生活や 企業活動をサポートしています。



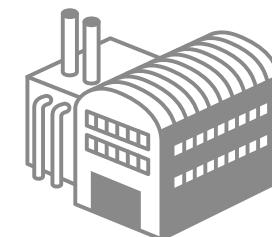
クラウドサービス

膨大なデータを分析し、様々な用途に活用しようという、ビッグデータ時代。当社のクラウドサービスも新たな方向へ進んでおります。まずは、クラウドサービスの名称を一新し、国内最高クラスのデータセンターを基盤に、新たなサービスラインナップも多数加えました。これからもお客様企業を通じ、間接的に皆様の生活へ大きな利便性をもたらすアイネットの新クラウドサービスを提供してまいります。



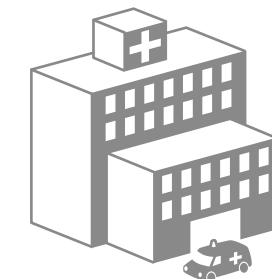
企業

製造・販売・物流・会計など様々な分野において、システムを開発し、導入後も継続的にサポートさせていただくことで、お客様のビジネスの発展に貢献しています。



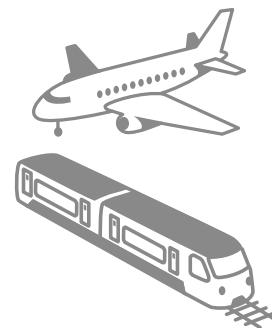
製造業

皆様の身の回りにあるデジカメなどの精密機器を高速化や省電力化する改善をしたり、便利で使いやすい機能を付加して、皆様にご利用いただいています。



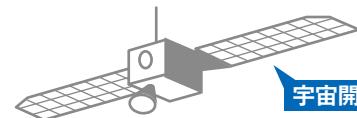
医療

人工心臓装置・カテーテルなどの医療機器や家庭でお使いになる在宅医療機器の設計開発を通じ、最先端医療を支えています。



航空/旅行会社

航空会社や旅行会社へ予約システムやチケットレスサービスなどを納入することで、皆様スムーズな予約をはじめ安全で快適なサービスを受けられる様サポートしています。



宇宙開発

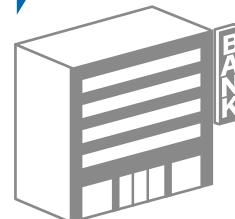
様々な観測衛星の設計・検査・運用に参画し、カーナビの精度向上、地球環境変動の監視や災害予知に貢献しています。はやぶさや国際宇宙ステーションなどの運用にも携わり、宇宙科学の発展にも貢献しています。



ガソリンスタンド

皆様がガソリンや灯油を購入される際に、スピーディかつ正確な精算が行われるよう、当社データセンターではクレジット決済業務や売掛処理を行い、SSのサービスを支えています。

銀行/ノンバンク



ATMや窓口における入出金、残高管理などの各種システムを開発し、サービス提供するとともに、キャッシュカードや各種通知、ご請求書などを作成し、皆様へお届けしています。



官公庁/自治体

行政機関からコンピュータをお預かりするとともに、納税や年金などの個人情報に関する重要な通知を、高セキュリティのデータセンター内で厳密に処理し、皆様へお届けしています。

コンビニ/スーパー



店舗システムを担当し、商品陳列から売れ筋商品の欠品防止、電子マネーやクレジットのご利用からポイント管理まで、身近な場所で皆様の生活の利便性向上に役立っています。



メディア(TV)

皆様へ信頼できる正確な情報をお届けするため、情報を発信し続けるメディアですが、当社はそんなメディアにおいて、皆様に最も身近なテレビ放送の運用を支えています。



個人宅配

皆様は、日常のお買物をどのようにされているでしょうか。日常の忙しさから、なかなか外出が難しい方々へ、毎日の暮らしに必要な食料品や、日用品などをお届けする個人宅配サービスの利用が増えております。そんな個人宅配サービスを当社提供のシステムが支えています。



ビデオ会議

企業におけるコミュニケーション方法の一つとして、ビデオ会議の利用が進んでいます。当社のデータセンターを活用し、クラウドサービスとして提供することで、従来の高価な専用の機器が必要であったTV会議システムと比べ、PC、タブレット端末、スマートフォンなど、皆さんが日常ご利用されている機器を使用することで、低価格で高品質かつ安定したビデオ会議が手軽に利用いただけます。



(例) 東京・名古屋・大阪をクラウドで連携しています。

第43期連結財務諸表の概要

[損益の概要]

	(単位:百万円)		増減率(%)
	前期 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)	当期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)	
売上高	21,587	ポイント1 22,528	4.4
売上総利益	5,228	5,411	3.5
営業利益	1,538	ポイント2 1,664	8.2
経常利益	1,487	1,561	5.0
当期純利益	885	901	1.9

[資産・負債の概要]

	(単位:百万円)		増減額
	前期末 (2013年3月31日現在)	当期末 (2014年3月31日現在)	
流動資産	7,566	7,645	78
固定資産	14,892	16,869	ポイント3 1,976
流動負債・固定負債	13,604	13,942	338
純資産	8,854	10,571	ポイント4 1,717
総資産	22,459	24,514	2,055

[キャッシュ・フローの概要]

	(単位:百万円)		増減額
	前期 (2012年4月1日から2013年3月31日まで)	当期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,890	1,171	△ 719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 899	ポイント5 △ 3,741	△ 2,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,073	2,278	3,351
現金及び現金同等物の期末残高	2,474	2,183	△ 291

株主の皆さまに必要なIR情報を公開しております。
財務諸表の詳細はこちらでご確認ください。

www.inet.co.jp/ir/index.html

アイネット IR

[決算数値のポイント]

ポイント1

データセンターを活用したITマネージドサービスやクラウドサービスをはじめとする情報処理サービスが堅調に推移したことと、システム開発サービスの売上増加により、売上高は前年比4.4%増の22,528百万円となりました。

ポイント2

売上高が増加した結果、営業利益は前年比8.2%増の1,664百万円となり、2年連続で最高益を更新しました。

ポイント3

データセンターの増設や情報処理用ソフトウェアの投資により、固定資産が1,976百万円増加しました。これらは、ストックビジネス拡大のための積極的な投資となります。

ポイント4

自己株式の売り出し等により純資産が1,717百万円増加しました。

ポイント5

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
利益の計上や減価償却費等の内部留保があったものの、売上債権の増加や法人税等の支払により、1,171百万円の収入となりました。

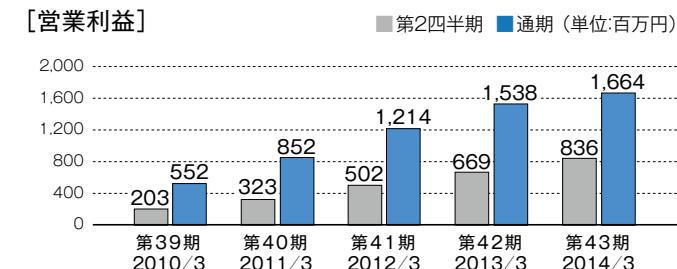
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
有形固定資産及び無形固定資産の取得に伴い、3,741百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)
有利子負債やリース債務の返済や配当金等の支払に対し、短期・長期の借入により、2,278百万円の収入となりました。

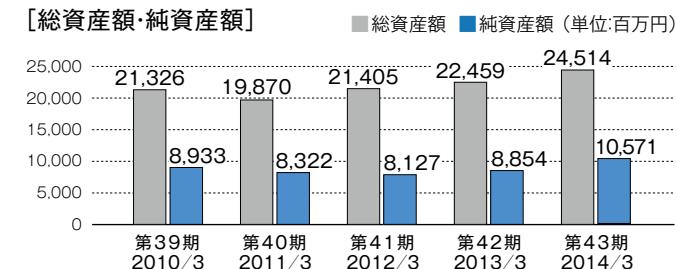
[売上高]



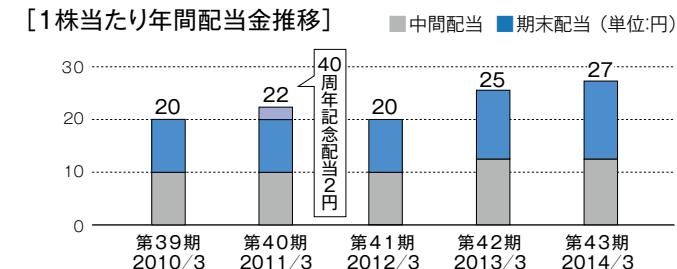
[営業利益]



[総資産額・純資産額]



[1株当たり年間配当金推移]



第43期の主な活動をご報告いたします。

[2013年5月、11月]

機関投資家向け決算説明会

IR活動の一環として、証券アナリストやファンドマネージャー向けに決算説明会を定期的に(年2回)開催しています。この決算説明会では、梶本社長から決算報告、事業方針、業界環境、当社グループの状況や業績予想等について説明いたしました。引き続き、当社グループに対する理解促進を図ってまいります。



[2013年6月]

定時株主総会と事業説明会

第42回定時株主総会を横浜ベイホテル東急で開催いたしました。総会後の事業説明会では、梶本社長より業績概要や今後の重点施策について説明を行い、株主の皆様にご理解を深めていただきました。



[2014年1月]

認知度向上のためのIR活動を推進

野村インベスター・リレーションズ(株)が発行する『アイアールmagazine』に、当社の事業内容等を紹介する記事を掲載しました。この企業情報誌は、同社に登録の個人投資家80,000名のモニターが購読し、さらにインターネットを通じて全国の個人投資家に閲覧されることで、当社グループを理解いただいております。今後も引き続き認知度向上の取り組みを推進します。



[2014年3月]

個人投資家向け会社説明会

個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。アンケート結果によれば、多くの方から、事業説明と成長への取り組みについて「理解できた」とのご意見を多数お寄せいただきました。今後も分かりやすい事業説明に努め、投資家の皆様の声にお応えてまいります。



[2014年5月]

第5回クラウドコンピューティングEXPO春に出展

2014年5月14日(水)~16日(金)の3日間、東京ビックサイトで開催された『第5回クラウドコンピューティングEXPO春』に出展いたしました。この春新たに発表した各種クラウドサービスをはじめ、メーリングサービスなど、当社の様々なサービスについてデモンストレーションを交えながらご説明いたしました。80,000名を超える会場来場者数があり、当社プレゼンテーションへも多くの人が訪れ、大変熱心に耳を傾けてくださいました。今回、ご訪問いただいた方への今後の営業活動に注力してまいります。



[2013年7月、11月]

クラウドセミナー『Dream Cloud Innovation Day 2013』開催

2013年11月19日、東京ミッドタウンで『DreamCloud Innovation Day 2013』と題して、当社主催のセミナーを開催いたしました。7月に大変好評をいただきました『Dream Cloud Seminar 2013』に続き、当社グループの先進的なクラウドサービスの全体像と今後の展望についてユーザー事例を交え具体的に説明いたしました。7月、11月を合わせると1,400名の方にご来場いただき、スマートフォンやタブレットを活用したクラウドサービスを多くの来場者の方に実感していただきました。



[2014年2月]

新データセンター竣工、サービスの稼働開始へ

当社グループで4棟目となる国内最高水準の安全性と最新のテクノロジーを備えた次世代型データセンターが、既に稼働中の第2データセンターI期棟と同じ敷地内にII期棟を竣工し、サービスを開始しました。当社グループはこのデータセンターを核に高機能なクラウドサービスを展開することでさらなる成長を目指します。



第2データセンター

[2013年4月~]

ビッグデータ時代の新クラウドサービス「Dream Cloud®」のサービスラインナップ拡充

企業ニーズの拡大が進む「クラウドサービス」をさらに進化させ、ビッグデータ時代に対応した業種を超えて適用できる新クラウドサービス「Dream Cloud®」の提供を開始し、ラインナップを拡充してまいりました。

Dream Cloud® が選ばれる理由

1	豊富なクラウドサービスをラインナップ
2	導入企業700社以上の実績
3	国内最高クラスのデータセンターでサービスを展開
4	先を見越したスピード感ある展開力

[第43期に提供開始した主なクラウドサービス]

Dream Signage®
クラウド型デジタルサイネージサービス

Virtual network solution
ネットワーク仮想化ソリューション

Dream Storage®
クラウド型ストレージサービス

thresh®
企業向けクラウドベースのチャットサービス

Dream Office®
コラボレーション&コミュニケーションサービス

LiveCams®
クラウド型ネットワークカメラ映像閲覧サービス

Mobile Meets®
HDビデオ会議クラウドサービス

名刺バンク
名刺管理クラウドサービス

社会貢献活動

アイネットグループの主な社会貢献活動をご報告いたします。

障がいのある方の自律を支援

当社グループは、障がいのある方が、障がいのない方と同様に、その能力と適性に合った職業に就労し、自律した生活を送ることができる社会の実現に向けた支援も社会貢献活動のひとつと考えております。その取り組みとして、障がい者雇用の促進を目的として特例子会社の株式会社アイネット・データサービスを設立し、障がいのある方が「自立・成長・自律」できるよう支援を続けております。

特例子会社

「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がい者の雇用にあたり就労環境や就労条件など特別に配慮した子会社を設立し、一定の条件を満たしているとの厚生労働大臣の認定を受けた会社をいう。

株式会社アイネット・データサービス 経営理念

自立そして自律

自立 成長 自律



自立
自らの力で、社会人として立ち立ちたいことを目指す

成長
自らの目標に向かい、努力することで成長を促す

自律
自らの考えに従って、行動できることを目指す

障がいを持つ社員個人が、自らの力で立ち立ち、そして自らの考えで行動できるように、私たちは応援してまいります。

その他社会貢献活動

当社グループは、地域での雇用創出や地域開催イベントへの協賛、文化活動への支援や災害支援を中心に積極的に社会貢献活動を行っております。

- **地域社会貢献** … 地域開催イベントへの協賛
地域での雇用創出
(パート、アルバイトの方の登録者数300名超)
- **文化活動への支援** … 文化団体や各種イベントへの協賛
- **災害支援** … 寄付を通じた災害支援並びに当社サービスの提供



神奈川県フィルハーモニー管弦楽団が財務基盤の強化を目的として設立した基金。



当社で活躍するパート、アルバイトの方々(一部)

アンケートにご協力ください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくために、アンケートを実施しております。お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご記入の上、7月31日までにご投函いただきますようお願い申し上げます。



同封のアンケートはがきをお送りください

会社の概況

商号 株式会社アイネット/I-NET CORP.
上場金融商品取扱い 東京証券取引所市場第一部(9600)
本社 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号
電話番号 (045)682-0800(代表)
URL www.inet.co.jp/
設立 1971年4月22日
資本金 3,203,992,690円
従業員数 1,328名(連結)/887名(単独)
(2014年3月31日現在)

事業内容
 1. 情報処理サービス
 2. システム開発サービス
 3. システム機器販売

役員 (2014年6月24日現在)
代表取締役会長 池田 典義
代表取締役社長 梶本 繁昌
専務取締役 田口 勉
常務取締役 鰐淵 浩
常務取締役 大嶋 均
取締役 野和彦
取締役 佐伯友道
取締役 石神 哲
取締役 立島 直記
常勤監査役 本村 晴樹
監査役 大橋 秀夫
監査役 本合 紘

子会社
 株式会社ISTソフトウェア
 www.ist-software.co.jp/
 資本金 608百万円
 事業内容 情報処理サービス
 システム開発サービス
 システム機器販売
 株式会社アイネット・データサービス
 www.inet-d.co.jp/
 資本金 9百万円
 事業内容 情報処理サービス

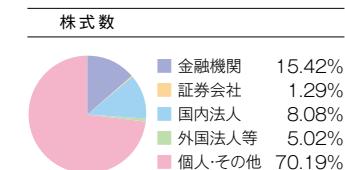
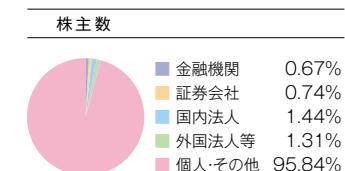
株式の状況 (2014年3月31日現在)

株主数 3,898名
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 14,765,840株

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
池田 典義	2,019,790	13.69
アイネット従業員持株会	1,353,115	9.17
北川 淳治	705,300	4.78
株式会社横浜銀行 (常任代理人資産管理サービス信託銀行株式会社)	643,000	4.36
ピーエスピーパブリセキリティーズサービス ルクセンブルグジャステックセキュリティーズ (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	360,000	2.44
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	331,000	2.24
有限会社エヌ・アンド・アイ	287,980	1.95
日本生命保険相互会社	250,000	1.69
三菱総研DCS株式会社	217,800	1.48
トッパン・フォームズ株式会社	211,000	1.43

所有者別構成比



※持株比率について
 自己株式を9,905株保有しておりますが、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

IRカレンダー

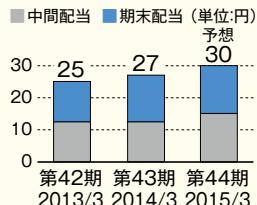
2014年7月30日	2015年3月期第1四半期決算発表
9月30日	中間配当金の基準日 株主優待権利確定日
10月下旬	2015年3月期第2四半期決算発表
11月下旬	2015年3月期第2四半期決算説明会
12月上旬	2015年3月期第2四半期株主通信発送 中間配当金支払い
2015年1月下旬	2015年3月期第3四半期決算発表
3月31日	期末配当金の基準日 定時株主総会基準日
5月上旬	2015年3月期決算発表
中旬	2015年3月期決算説明会
6月上旬	定時株主総会招集通知発送
下旬	第44回定時株主総会 決議通知書、株主通信発送 期末配当金支払い

株主還元について

■ 配当金

1株当たり年間配当金30円(予想)

当社は将来の資金需要に備え内部留保を充実しつつ、安定的な配当を継続して実施することを基本としております。第44期は、1株当たり年間30円(中間配当金15円、期末配当金15円)を予定しています。



■ 株主優待制度

株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の魅力を高めることを目的に、株主優待をもうけております。

■ 対象株主様

9月末日時点で1,000株以上保有いただいている株主様

■ 優待内容

所有株式に応じて当社オリジナルのQUOカードを年1回(12月上旬)お届けいたします。

■ 社会への貢献

贈呈額の10%を別途、当社より障がい者支援団体等に寄付をさせていただきます。昨年12月に贈呈の株主優待分につきましては、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会に全額寄付いたしました。

所有株式数	優待内容
1,000株以上3,000株未満	… 1,000円分
3,000株以上5,000株未満	… 2,000円分
5,000株以上	… 3,000円分

さらに3年以上継続保有の場合は、1,000円分のQUOカードを追加



株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会: 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
www.inet.co.jp/denshi-koukoku/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた際には、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページよりIR情報をお選びいただくと、最新情報をご覧いただけます。

■ アドレス

www.inet.co.jp/

アイネット

検索



(商標について) 記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。